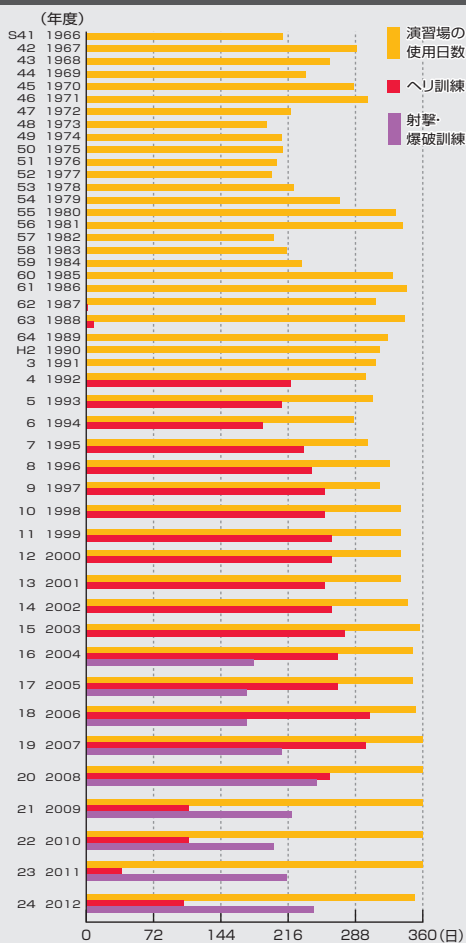




響庭野演習場での陸自訓練日数(判明分のみ)



Q オスプレイの飛行ルートについて、市街地や琵琶湖の上を飛ばないよう要請されたが、実際は、どこをどれくらいの高度で飛んだのか。

A 知事公室長 10月28日、防衛省から受けた報告では、**谷路**若国基地を經由して、往路は、響庭野演習場南南東方向から進入し、同分屯基地上空を経て訓練ポイントに着陸。**復路**演習場内北側の桐畑地区を離陸後、奥山ダム上空を経て演習場南南東方向に離脱。高度については報告がありませんでした。また、防衛省からは、「市街地上空を飛行した可能性は十分あると認識している。琵琶湖上空を飛行しなかったとは言えない。」「との見解をいただいております。その後も防衛省に確認したが、今日まで、飛行経路や高度について追加の情報提供は、ございません。

Q 高島市役所の上空で飛んだのが確認されている。響庭野に至る滋賀県全体の飛行ルートはどうだったのか。

A 知事公室長 高島市役所では視認され、庁舎上空から進入をし、復路は彦根方面に離脱を行なったと報告を受けております。県は、その後、防衛省にも確認しましたが、進入路あるいは離脱路以外については確認ができなかった。さらに米軍に対しても資料提供を求めたが、報告がなかったという報告でした。



質問をする
沢田議員

Q 住民の安全確保を図るため、説明のあり方について、今の思いを伺うと同時に、今後どうされるか。

A 知事 11月14日、全国知事会を通じて、防衛大臣に、事前に十分説明し、理解を得るよう一層努めること等を改めて強く求める要請を行いました。今後とも、防衛省においては、県民の安全と日常生活に支障を来すことのないよう、必要な情報を関係機関等に迅速確実に提供し、丁寧に説明されるよう万全の配慮をお願いしたいと思います。また、県民の不安解消のためには、積極的な情報提供が必要ことから、これまでどおり県のホームページ上で経過等について公開するなど、引き続き県民への情報提供に努めます。

Q 沖繩の基地負担軽減についての説明は、十分得られたのか。

A 知事 平和と住民の安全を求める議員の心持ちに対しては、私も共感するところです。防衛省には、まずは全体計画を示した上で、個々の訓練等がどのように沖繩の基地負担軽減につながるのか、客観的な数値を示されるよう求めたのに対し、訓練の本土への分散による負担軽減という説明があったものの、全体として十分な数値を伴った説明はいただけていません。

Q 高島市役所の上空で飛んだのが確認されている。響庭野に至る滋賀県全体の飛行ルートはどうだったのか。

A 知事公室長 高島市役所では視認され、庁舎上空から進入をし、復路は彦根方面に離脱を行なったと報告を受けております。県は、その後、防衛省にも確認しましたが、進入路あるいは離脱路以外については確認ができなかった。さらに米軍に対しても資料提供を求めたが、報告がなかったという報告でした。

Q 平和と住民の安全を求める議員の心持ちに対しては、私も共感するところです。

国内初 日米共同実動訓練に参加したオスプレイ問題を明らかに

県民生活の安全のために

10月16日にはオスプレイが2機飛来し、共同訓練が響庭野演習場で実施された。オスプレイは、それまでの墜落事故の経歴や、沖繩の米軍基地周辺の住民への説明不足と不安などもある。知事は、防衛大臣に面談して地元自治体として14項目にわたる説明を求めてこられた。実際の訓練が終わっても、県民への説明を尽くさないままでは、政府が滋賀県民をなげかりしに、仮に米軍が説明をしなかったのであれば、日本の主権が侵害された重大な問題であると考え、強い憤りを抑えることができない。

特定秘密保護法案が参議院で強行採決されようとしているが、民主主義の下で国民の知る権利の侵害となり、平和憲法に反し、戦前復帰であると思

高島市役所の上空で飛んだのが確認されている。響庭野に至る滋賀県全体の飛行ルートはどうだったのか。

高島市役所では視認され、庁舎上空から進入をし、復路は彦根方面に離脱を行なったと報告を受けております。

県は、その後、防衛省にも確認しましたが、進入路あるいは離脱路以外については確認ができなかった。さらに米軍に対しても資料提供を求めたが、報告がなかったという報告でした。

平和と住民の安全を求める議員の心持ちに対しては、私も共感するところです。

防衛省には、まずは全体計画を示した上で、個々の訓練等がどのように沖繩の基地負担軽減につながるのか、客観的な数値を示されるよう求めたのに対し、訓練の本土への分散による負担軽減という説明があったものの、全体として十分な数値を伴った説明はいただけていません。

住民の安全確保を図るため、説明のあり方について、今の思いを伺うと同時に、今後どうされるか。

11月14日、全国知事会を通じて、防衛大臣に、事前に十分説明し、理解を得るよう一層努めること等を改めて強く求める要請を行いました。

防衛省においては、県民の安全と日常生活に支障を来すことのないよう、必要な情報を関係機関等に迅速確実に提供し、丁寧に説明されるよう万全の配慮をお願いしたいと思います。

県民の不安解消のためには、積極的な情報提供が必要ことから、これまでどおり県のホームページ上で経過等について公開するなど、引き続き県民への情報提供に努めます。

会派調査

10/18

高島市鴨川河川敷に放置された放射能汚染物質の疑いがある木材チップを調査

昨年3月～4月頃、土木事務所が鍵を管理している鴨川左岸の堤防などに、幅約3.5m、長さ約570mに渡って放射能に汚染された疑いのある木材チップが無断で敷設された問題で、県議会では、緊急かつ重大な問題ととらえ、今後の対応について議論を行っております。今後も県民の皆様が安全で安心した暮らしを取り戻せるように、私たちは全力を尽くします。



鴨川左岸を会派で調査



大型土のう袋
木材チップ(シート掛け)
(大型土のうで囲い設置)

琵琶湖



右岸の住宅地で空間線量を測定

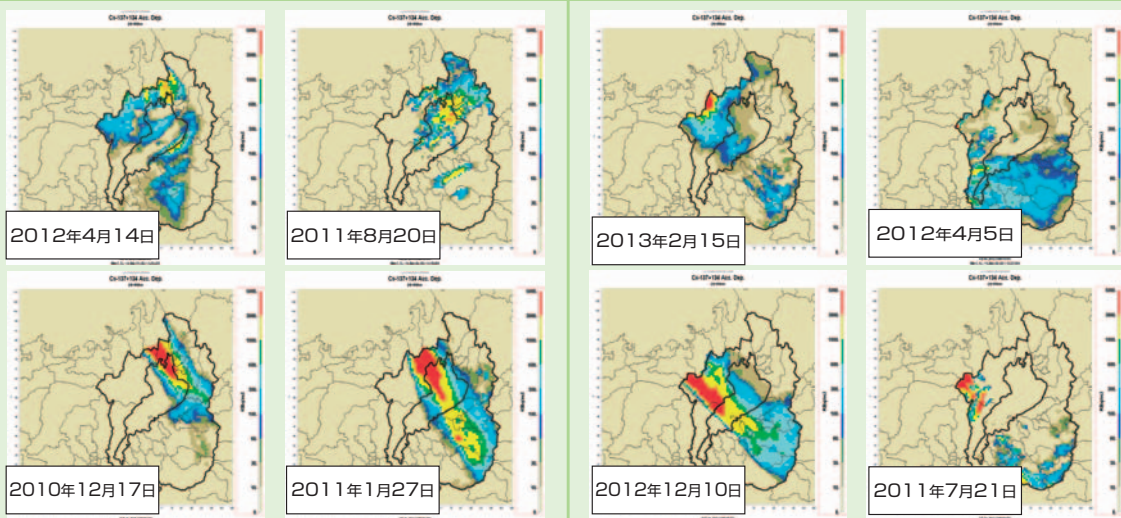
12/20 知事への要望



- 「公共工事予算に関する件
- 「流域治水および河川維持管理の促進に関する件
- 「地域経済の活性化と雇用創出に関する件
- 「環境保全に関する件
- 「医療介護・福祉の充実に関する件
- 「教育に関する件
- 「文化とスポーツの十年に関する件

大飯・美浜原発で福島原発事故を想定した放射能拡散予測図(気象条件)

滋賀県 防災危機管理局データ



累積沈着量(セシウム・美浜)

累積沈着量(セシウム・大飯)

11/26

私たちは、福島第1原子力発電所事故データに基づいて、琵琶湖環境科学研究所センターが様々な気象条件のもとで作成した琵琶湖流域における放射性物質拡散影響予測の説明を受けました。

